

# Rotary



## Rotary Opens Opportunities



# ロータリーは 機会の扉を開く



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 渡 邊 有 規      幹 事 田 原 聖      会報・雑誌委員長 伊藤 繁幸

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ      例会日 毎週火曜日(12:30~)      事務局 宇都宮市東宿郷3-2-5-803 TEL.028-638-5125 FAX.028-638-5128

通算2896号 2020年12月22日(晴れ) 第22回例会 会員数120名 列席多数

点 鐘 渡邊 有規会長  
司 会 副SAA 野添会員

◇ロータリーソング「それでこそロータリー」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

会長挨拶 渡邊(有) 会長

皆様、こんにちは。いよいよ、本年最後の例会となりました。私共の年度も、半期を迎えました。大変な中でしたが、会員の皆様、誠にありがとうございました。

まず初めに、お断りをさせていただきますが、本来なら本日は年忘れ家族例会の日でしたが、中止となり、昼間の例会となりました。そんな中、田原幹事、塚越親睦委員長、役員・理事の皆様、そして私とお話をさせていただき、少しでもご家族の中で年末を楽しんでいただきたいという思いで、会員、会員ご家族の皆様にプレゼントをご用意させていただき、お送りさせていただきました。また、本日は急な変更でしたので、床井プログラム委員長に卓話をお願い致しました。責任感の強い床井委員長に感謝致します。

本年度RI会長、ホルガー・クナーク氏は、ロータリーの変革を訴えております。「ポール・ハリスが言ったように、時に革命的でなければなりません。そして、革命的であるべきときは、まさに今なのです。」と言われました。森本ガバナーは、紛争や、貧困格差や、災害や、デジタル化進展、そしてコロナにおいて、世界が大きく変化をしてゆく時代であると話され、まさしくそのような時代になってまいりました。時代の変化は後戻り出来ない。ついつい、昔に戻りたいという思いに駆られますが、次の時代をしっかりと掴み取る必要に迫られます。RIテーマは、「ロータリーは機会の扉を開く」です。私達も、しっかりと時代を見据え、宇都宮東ロータリーの明日の扉をいかに開いたらよいか、そんなことを考えております。本日も委員長会議がありますが、そんな思いでいろいろと変革をしていきたいと思っています。今あるこの状態を肯定

して、前半を終了し、後半へ続けていきます。

私は、第2550地区で、一番に、笑顔と元気があふれるクラブにしたいと考えます。60年の伝統ある、一番の誇りある宇都宮東ロータリークラブ、今をお作り頂きました先輩ロータリアンに敬意を表し、感謝をかたちとして行きます。これが、活動の原点です。現況報告書にも書いた方針です。もう一度言います。第60期年度方針「誇りと感謝、そして繋ぐ新しき未来へ」。2550地区で一番に笑顔と元気があふれるクラブに、皆さんと共に、是非、作ってゆきましょう!!

◇ロータリー財団より表彰

<マルチプルPHF>

倉井 章会員(4回目)

金澤 正邦会員(8回目)

 幹事報告

田原幹事

◇1月5日(火)の第1例会は夜間新年会より通常の昼間の例会に変更。お間違いなく。

◇1月5日例会時に、姉妹クラブである鳳山西区ロータリークラブの創立記念式典にビデオレターを送るための撮影を行います。ご協力を。

 委員会報告

◇スマイルボックス委員会 岡田委員長

サンタクロース

メリークリスマス!そして良いお年を。皆様が笑顔でいられますよう心から願います。

渡邊有規会員

本日12月22日朝6時58分、私共の長女が子供を出産致しました。孫は2人目ですが、初めての内孫です。女の子でした。誠にありがとうございます。

田原 聖会員

会員の皆様のおかげで渡邊年度前期最終例

会を迎えることが出来ました。心より感謝致しましてスマイルさせていただきます。また後期もご指導よろしくお願い致します。



卓話

「柚子について」

プログラム委員会 床井光雄委員長



こんにちは。本日は、ひょんなことから今年最後の例会の卓話のとりを仰せつかりました。私は、4年前から専業の柚子農家として進んでまいりましたので、柚子の話させていただきます。昨日は冬至でしたので、ゆず湯に入ったと思いますが、もしまだの方がいらっしゃいましたら、受付に柚子を用意いたしましたのでお持ちください。身体を温めていただければと思います。話の方はプロジェクターを使って説明させていただきます。

－ プロジェクターにて説明 －

私共の柚子は、親の代からのものを相続で引き継いだものです。産地として約60年続いています。10年前に父が亡くなり相続を受けて、そのまま柚子の組合長も一緒に引き継ぎました。どのようにして地域を盛り上げるかを念頭において活動し、新しいビジネスのあり方みたいなものができればと思っています。先週土、日に鬼怒川・川治温泉では柚子風呂キャンペーンがありました。毎年やっているのですが、大きくPR出来ませんでしたので、知る人ぞ知るといった感じです。

柚子は5月に白い花が咲いて、9月に青くなります。柚子胡椒はこの頃です。11月に黄色くなります。食べるというよりは香りづけです。京都から発信した冬文化と私は感じていまして、香りが全国に広がって

いったと思います。柑橘類は日本固有のものが少なく、伝統の三大和柑橘が「だいたい」「橘」「柚子」です。一千年の歴史があります。中でも柚子はペットのように人と付き合ってきたということです。最近では海外でも随分評価されてきているようです。柚子は、健康成分が強く、香りはもちろんですが、いろいろな機能性が高いと言われています。ほとんどの柚子が四国、九州なのですが、栃木の柚子は北緯36度にあります。宇都宮大学と交流をしながら、その機能性の差を調べる研究に入っています。香りや健康成分が多く含まれていると考えていて、北緯36度の栃木ブランドに出来ればと思っています。

昨年の大嘗祭には当園の柚が献納されています。柚子は今のシーズンだけですが、業務用の柚子、ピールや果汁を沢山作ってしまっていて、工場を動かしています。ドライ品もあります。それがまたBtoBの商品開発に繋がればと思っています。春先から商品が動かない状況が続きましたので、通販事業も考えながらやっていこうということで、ギフト商品、通販商品を作って、小売業の卸も始まってきました。11月には小売りの場所になればとギャラリーを作りましたので、お時間がありましたら、いらしてください。それでは、床井柚子園を取材した宇都宮市作成のVT Rがありますのでご覧ください。

－ 「いただき宮つつ 農業王国うつのみや」  
第32回「宮ゆず」鑑賞－

今年はコロナに始まりコロナで終わる、そんな年でしたが、皆様どうか、柚子湯に入って身体を温めて、無病息災を願っていただければと思います。風邪も引かず、無病息災で一年過ごして貰えると思います。また来年、元気で会いましょう。

※床井柚子園の詳細を知りたい方は床井柚子園のホームページを閲覧下さい。

柚子やドレッシングなどの様々な商品もご覧いただけます。

URL <https://www.miyayuzu.jp/>

